

しろ組・あお組・もも組だより



R5. 2. 9

編集 福田 清香

☆今後の予定☆

- 2月14日(水) 体操教室 月
- 2月16日(金) 2月生まれ 保育参観
- 2月28日(水) 体操教室 虹
- 3月4日(月) お別れ遠足 虹
- 3月5日(火) 今泉小交流会 虹
- 3月8日(金) 3月生まれ 保育参観
- 3月16日(土) 卒園式 虹



今週は、あたり一面が真っ白な雪景色が見られましたね。子ども達は「ワクワクする!」「なんかあかるい感じがする!」と、雪景色を見ながら思いを口にしていました。

雪の上を歩く時にはどうしたらいいのか、雪が降ったらどんなことが起こるのか、雪でどんな遊びができるのか等、『雪』について色々と考えました。大人になると、通勤時間や通勤方法に頭を悩ませてしまいますが、子ども達のキラキラした目を見ていると、ワクワクドキドキのおすそ分けをもらう事ができますよね。忙しい日々、どうしても心に余裕がなくなってしまうのですが、そんな時には子ども達を見習うのもいいかもしれません。

～雪が降ったから・・・～

雪が降った翌日「せんせい、ゆきあそびしたい!」と登園してきた子ども達。水分を多く含んだ雪の上に雨も降ったので、園庭はシャーベット状。服装や体調の事を考えると難しく、子ども達の高いテンションでは安全面的にも悩ましい所。そこで「雪遊びしたいよね。なかなか雪が降る事、ないもんね。遊べるかどうか、ちょっと園庭を見てみようか。」と、子ども達に声を掛け、窓から覗いてみました。

「うわ! なんかとけちゃってる! でも、はっぱのうえはへいきそうだよ!」

「でもさ、そこまでいけないよ。どろどろになっちゃうし、ふくもぬれちゃうね」

「やっぱりおへやであそぶほうがいいね。ぼくはもうおうちでゆきにさわったよ。」

「わたしはちょっとだけ。きょうおうちにかえるときにさわってみる!」

と、子ども達が自分たちで見て考え、意見や思いを伝え合う事で、納得してお部屋で過ごす事になりました。

～お部屋の中で雪を楽しむ～

せっかく雪が降ったので、保育士的にはこのチャンスは是非活かしたい!

ということで、雪の結晶を折り紙を切って作り、子どもに見せてみました。子ども達からは「うわあ!」という感動の声。虹さんの数人が興味を持って雪の結晶づくりに挑戦しました。少し前から読んでいた「きらきら」という雪の結晶の写真が載っている絵本を真剣に見て、少しでも雪の結晶に近づけようと、工夫をしながら取り組んでいましたよ。たくさんの結晶ができたので、大きな真っ黒な紙に貼りました。そして、月さんと星さんも丸いシールを沢山貼ってくれ・・・素敵な雪景色が完成! 出来上がった作品を見てみんなうっとりでした。

制限のある中でも、視点を変えればこんな楽しみ方もできます。実際に雪に触れて遊びたいという思い全ては満たせてはいないかもしれませんが、これはこれで楽しみ、満足できたようです。



きらきら アリス館

文 谷川俊太郎 写真 吉田六郎

次回の
クラスだよりは
最終号です。
月・星 3月8日(金)
虹 3月16日(土)